

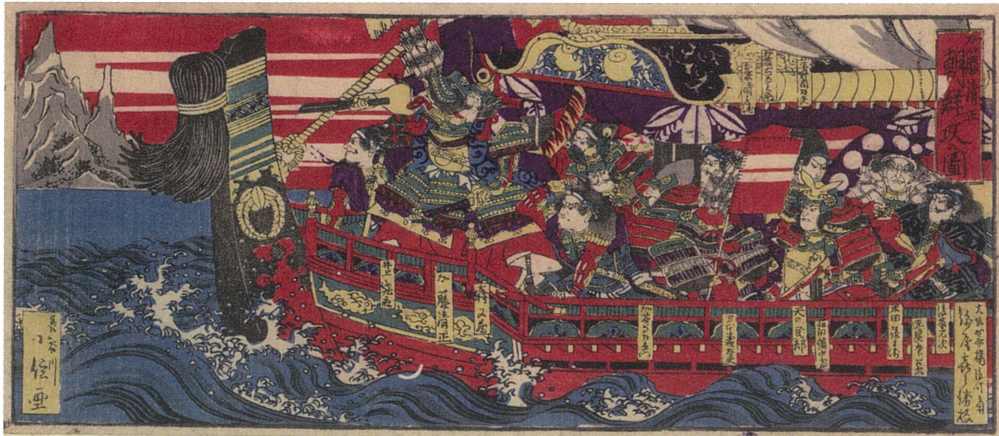
刈谷市 歴史 博物館 NEWS

Vol.03
2020.03

Kariya city Museum of History NEWS

CONTENTS

- 資料紹介 ----- p.2
Report(展示報告) ----- p.3
NEXT Exhibition(次回展示) ----- p.4



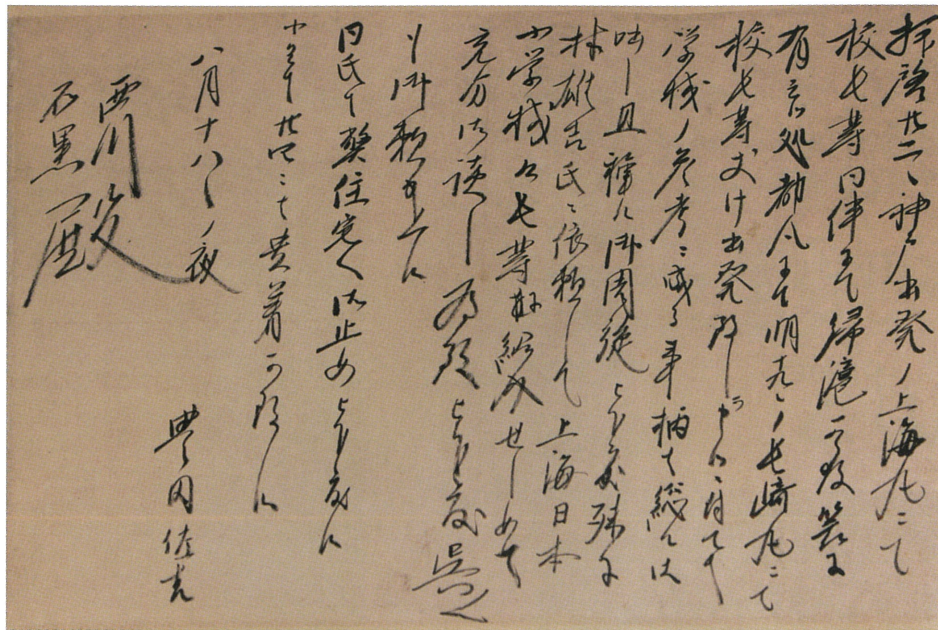
Topic

おもちゃ 玩具絵(加藤清正朝鮮攻の図) (刈谷市中央図書館蔵 佐藤峻吉氏寄贈)

これは「玩具絵」と呼ばれる子供向けの浮世絵のひとつで、文禄・慶長の役で加藤清正が家中の武將を従えて高麗（現在の朝鮮半島）へ渡海する様子を描いています。賤ヶ岳の戦いでの戦功から「七本槍」と称えられ、高麗では虎退治をするなど様々な武勇伝を残した人物で、そうした勇猛果敢な様子が「玩具絵」の題材にふさわしいと考えられたのでしょう。清正は、熊本城を築き治水などの公共事業を行って熊本を発展させたことから、地元では「せいしょこ（清正公）さん」として今でも親しまれています。

本資料は、企画展「歴史へのいざない - 佐藤コレクションの魅力 -」にて展示いたします。この機会にぜひ歴史博物館へ足をお運びください。

資料紹介 西川・石黒重役宛豊田佐吉書簡について



西川・石黒重役宛豊田佐吉書簡（株式会社豊田自動織機蔵）

今回、企画展「刈谷の近代化と豊田佐吉・喜一郎」展を開催するにあたって、新たに豊田佐吉の書簡2点を展示しました。1点は石原貞蔵宛であり、もう1点は西川・石黒重役宛です。2点とも複製はトヨタ産業技術記念館で展示されたことがありますが、原本は本展が初公開となります。これは株式会社豊田自動織機製作所の『四十年史』の巻頭に掲載されていますが、特に解説等は付されていませんでした。

この書簡の内容について簡単に述べますと、上海にいる西川秋次・石黒昌明という豊田佐吉の部下に対し、名古屋にいる佐吉が自身の日程の変更と社本校長という人物が上海に向かうのでよろしく取り計らうよう依頼したものです。西川秋次と石黒昌明はともに豊田佐吉が上海に設立した株式会社豊田紡織廠の

役員であり、のちに西川は専務取締役、石黒は常務取締役に就任しています。西川は佐吉の遠縁にあたり、佐吉のもとで自動織布工場を経営した経験がありました。石黒は伊藤忠商事上海支店に勤務経験があり、佐吉の娘婿である豊田利三郎の実兄児玉一造と同期生でした。このように、佐吉は自身の腹心とも言うべき2人を上海に常駐させ、豊田紡織廠の発展に力を注いだのです。ちなみに、石黒は2017年にノーベル文学賞を受賞した、カズオ・イシグロ氏の祖父にあたります。

書簡中に「林雄吉氏ニ依頼して上海日本小学校々長等に紹介せしめて、充分御談し為致被下度」という文言が出てきます。文中の林雄吉は上海日本人各路連合会という上海の居留民自治組織のトップをつとめており、居留民に相当な影響力があったと

考えられます。

この書簡からは、社本校長のためにさまざまに便宜を図る佐吉の姿が見て取れます。社本校長がどのような人物か不明ですが、「日中友好」に資する活動を行うと佐吉が判断するほどの人物だと考えられます。佐吉自身が社本校長に上海行を薦めたからです。

佐吉は中国に大きなビジネスチャンスを見て取っただけではなく、実業を介しての「日中友好」という強い信念を持っていました。佐吉の死後、豊田紡織廠は豊田利三郎が社長になりますが、実質的な経営は西川が行い、豊田紡織廠の発展に力を注ぎます。その結果、豊田系各社への資金供給源としての役割も果たしました。

（学芸員 五十嵐 正也）

《参考文献》

西川秋次の思い出編集委員会『西川秋次の思い出』1964年
平井法「カズオ・イシグロ『わたしたちが孤児だったころ』論-上海へのノスタルジーをめぐって」(『学苑』第八〇五号、2007年11月)
藤田拓之「『国際都市』上海における日本人居留民の位置：租界行政との関係を中心に」(『立命館言語文化研究』21巻4号、2010年3月)
牧幸輝「豊田利三郎と豊田業団-経営構想、企業家ネットワークと同族経営体制-」(『経営史学』第46巻第2号、2011年9月)
山崎広明『豊田家紡織事業の経営史 紡織から紡織機、そして自動車へ』文真堂、2015年

REPORT

展示報告

企画展「発掘された中条遺跡展 —地下に眠る刈谷の1万年—」 2019年9月7日(土)～11月4日(月・祝)

刈谷市重原本町に位置する中条遺跡から出土した原始から近世にかけての遺物の展示を行いました。

原始、古代、中世、近世と時代区分を4つに分け、各時代の中条遺跡から出土した遺物や関連のある遺跡の遺物を紹介しました。

原始のエリアでは、中条遺跡出土の土偶に類似した土偶を秋田県北秋田市から借用し、東海地方初の展示ということで、話題となりました。

イベントでは、各時代の専門家の講演会のほかに、関東から世界で活躍する「土偶マイム」、陶芸体験や瓦作り体験など子ども向けのイベントを行い、子どもから大人まで楽しんでいただけたかと思えます。

本展示は5,600人を超える多くの方に来場いただきました。ありがとうございました。



講演会「古代碧海郡と中条遺跡」



関連イベント「土偶マイム」

COLUMN

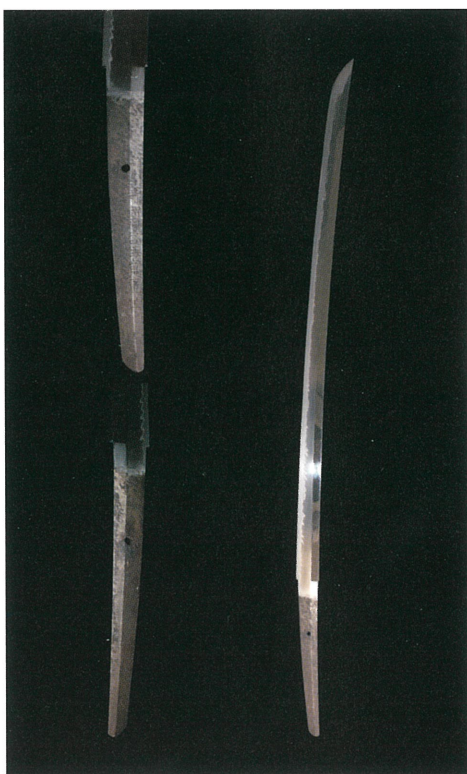
コラム

收藏品よもやま話

さび

錆はつらいよ ～お帰り寛重さん～

かんじゅう



刀 銘「三河國刈谷住寛重作／明治三年八月日」

「身から出た錆」ということわざをご存知でしょうか。刀の本体（刀身）から生じた錆が、刀そのものを朽ちさせてしまうことから、転じて自分の悪行が自分に返ってくることです。美しい状態の刀も、長い間手入れをおろそかにすれば、本当に錆びてしまうのです。

しかし、錆びたら朽ちるのを待つのみ、ではありません。応急処置や研磨を行うことで、それ以上の錆や腐食を防ぐことができます。

今年度は、刀身に少し錆が見られた刀、それも、かつて刈谷に住んでいた刀鍛冶・寛重の作品を研磨に送り出しました。もちろん、大切な作品なので、美術刀剣の研磨を行う研師のところへ。

そして、約2か月の作業期間を経て、美しい姿で刈谷へと戻ってきました。展示でご覧いただける日が待ち遠しいです。

お帰り寛重さん。

NEXT Exhibition 次回展示

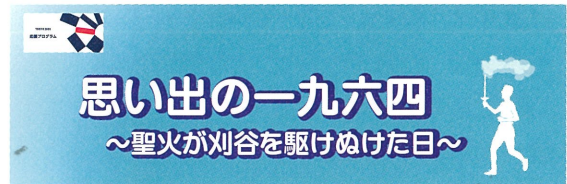
歴史へのいざない
 -佐藤コレクションの魅力-
 2020.4.25(土) ~ 6.7(日)



京都生まれ、晩年を刈谷市で過ごした佐藤峻吉(1903~1991)は、私財を投じて膨大なコレクションを形成しました。それらは現在、刈谷・名古屋、そして京都などで保管されています。

本展では、各地で大切に継承されているコレクションから選りすぐり、刈谷の歴史や古文書の魅力をご紹介します。

ミニ企画展



会期：2020.3.24(火)~4.12(日)
 会場：歴史博物館エントランス

※記載内容は予告なく変更することがあります。
 詳細・最新情報は当館ホームページをご覧ください。

INFORMATION ご案内

開館日カレンダー ※開館日は変更することがあります。
 最新情報はホームページをご覧ください。

2020 3月							4月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4	
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	
29	30	31					26	27	28	29	30			
5月							6月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
					1	2			1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					
31														

□ …開館日 ■ …休館日 ■ …企画展開催日

交通案内

鉄道 JR東海道本線 逢妻駅
 名鉄三河線 刈谷市駅 から
 徒歩約15分

バス 刈谷市公共施設連絡バス「かりまる」
 東刈谷・逢妻線(黄色)
 「刈谷市体育館」下車 徒歩約3分

自動車 伊勢湾岸自動車道
 名古屋南ICまたは豊田南ICから
 約20分

刈谷市歴史博物館 NEWS とは?

企画展や文化財を中心に、歴史について考えるきっかけづくりとして発行する機関紙です。展示だけでは伝えきれないことや、日々の調査研究から見えてきたことを、本紙を通じて発信しています。

編集後記

刈谷市歴史博物館 NEWS Vol.03をお届けします。徐々に春の足音が聞こえるころ、歴史博物館では、「歴史へのいざない」展で、皆様をお迎えいたします。それでは、Vol.04もよろしくお願いいたします。

編集・発行

刈谷市歴史博物館
 KARIYA city Museum of History

〒448-0838 愛知県刈谷市逢妻町4丁目25番地1
 TEL.0566-63-6100 FAX.0566-63-6108
 URL: <https://www.city.kariya.lg.jp/rekihaku/>

..(永井)